資料１

平成２７年度　全国学力・学習状況調査の結果について

１　実 施 日　２０１５年４月２１日（火）
２　対　　象　小学校６年生（３８８４人）、中学校３年生（３４１１人）
３　調査の目的
○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
４　調査教科等
○国語、算数・数学
（Ａ：主として「知識」に関する問題、Ｂ：主として「活用」に関する問題）
○理科　※２０１２年度以来２回目の実施
○児童・生徒に対する質問紙調査
・学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
○学校に対する質問紙調査
・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査
５　学力調査結果
【小学校】平均正答率　※（　）内の数値：平均正答数 / 問題数

	国　語		算　数		理　科
	A：主として知識	B：主として活用	A：主として知識	B：主として活用	
町田市	**70.5 (9.9/14)**	**65.9 (5.9/9)**	**76.4 (12.2/16)**	**45.7 (5.9/13)**	**61.7(14.8/24)**
東京都（公立）	72.3 (10.1/14)	66.5 (6.0/9)	77.4 (12.4/16)	47.8 (6.2/13)	62.4（15.0/24）
全　国（公立）	70.0 (9.8/14)	65.4 (5.9/9)	75.2 (12.0/16)	45.0 (5.9/13)	60.8（14.6/24）

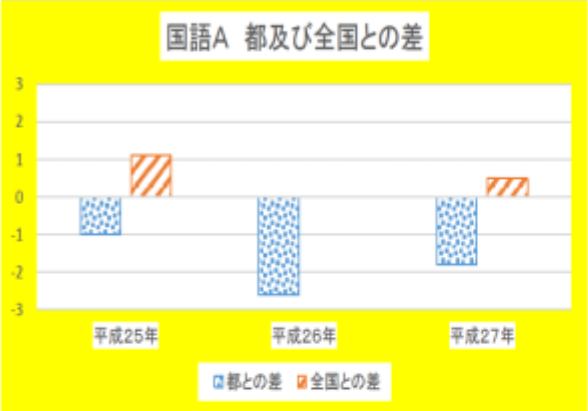
【中学校】平均正答率　※（　）内の数値：平均正答数 / 問題数

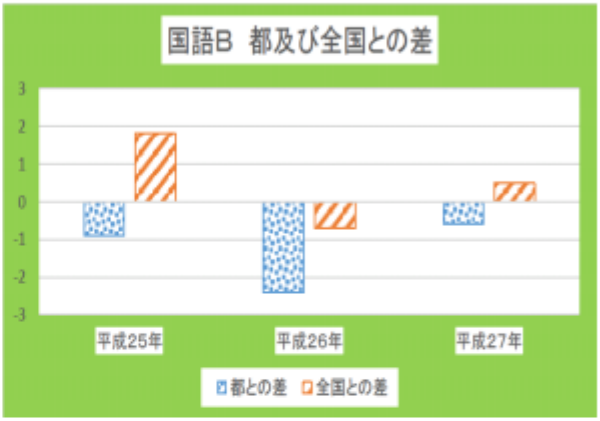
	国　語		数　学		理　科
	A：主として知識	B：主として活用	A：主として知識	B：主として活用	
町田市	**77.3 (25.5/33)**	**65.9 (5.9/9)**	**66.2 (23.8/36)**	**42.9 (6.4/15)**	**52.0(13.0/25)**
東京都（公立）	77.2 (25.5/33)	67.0 (6.0/9)	66.3 (23.9/36)	44.0 (6.6/15)	52.5（13.1/25）
全　国（公立）	75.8 (25.0/33)	65.8 (5.9/9)	64.4 (23.2/36)	41.6 (6.2/15)	53.0（13.3/25）

6　国語、算数・数学における３年間の経年変化

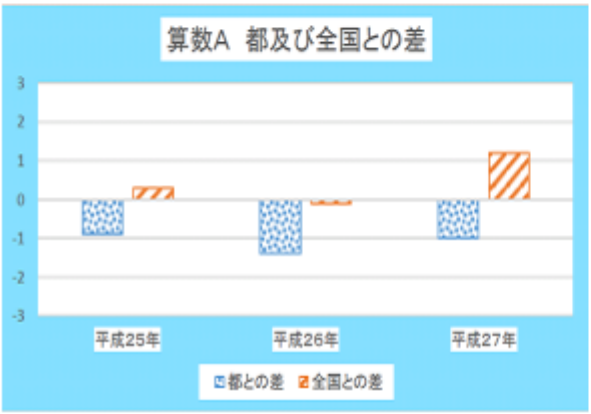
①町田市立小学校の平均正答率と都及び全国との差

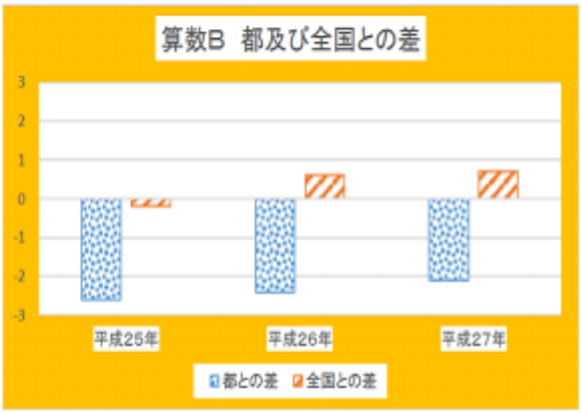
平均正答率						
	国語A			国語B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国
平成25年	63.8	64.8	62.7	51.2	52.1	49.4
平成26年	72.9	75.5	72.9	54.8	57.2	55.5
平成27年	70.5	72.3	70	65.9	66.5	65.4





平均正答率						
	算数A			算数B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国
平成25年	77.5	78.4	77.2	58.2	60.8	58.4
平成26年	78	79.4	78.1	58.8	61.2	58.2
平成27年	76.4	77.4	75.2	45.7	47.8	45



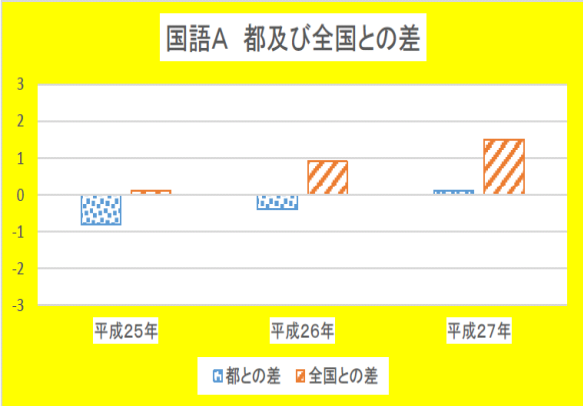


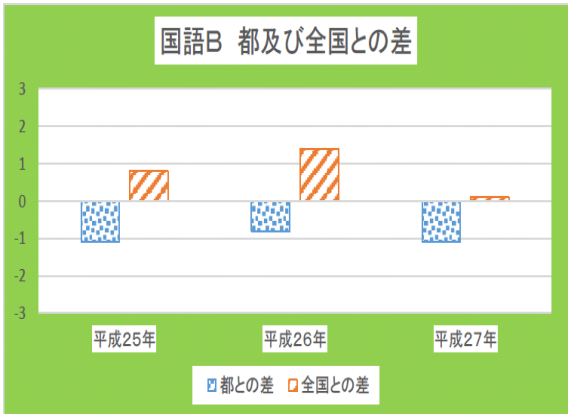
国語、算数とも平成２７年度の町田市の平均正答率は、都の平均正答率よりは下回っているものの、全国の平均正答率は若干上回っている。

また、３年間の経年変化については、棒グラフのとおり、算数Ｂにおいて、徐々に全国の平均正答率の上回り方が大きくなっている。また、国語、算数とも平成２６年と比べると、若干都との差が縮まり、全国との差が開いている。

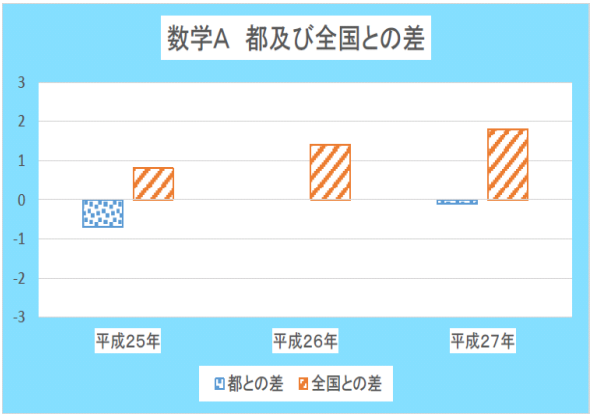
②町田市立中学校の平均正答率と都及び全国との差

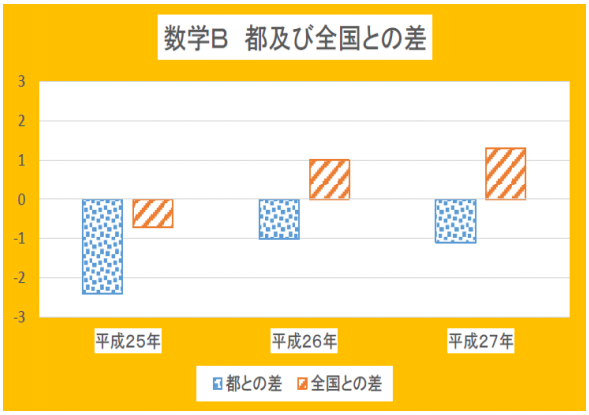
平均正答率						
	国語A			国語B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国
平成25年	76.5	77.3	76.4	68.2	69.3	67.4
平成26年	80.3	80.7	79.4	52.4	53.2	51
平成27年	77.3	77.2	75.8	65.9	67	65.8





平均正答率						
	数学A			数学B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国
平成25年	64.5	65.2	63.7	40.8	43.2	41.5
平成26年	68.8	68.8	67.4	60.8	61.8	59.8
平成27年	66.2	66.3	64.4	42.9	44	41.6





国語、数学とも平成２７年度の町田市の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っている。中学校国語Ａは、東京都の平均正答率よりも若干上回っている。

また、３年間の経年変化については、棒グラフのとおり、国語Ａ、数学Ａ、Ｂにおいては、徐々に全国の平均正答率の上回り方が大きくなっている。

7　各教科における平均正答率が全国と比較して、高かった設問と低かった主な設問
（○：高い、●：低い）

①小学校国語

○聞き方の説明として適切なものを選択する	【Ａ３】＋4.7
○見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	【Ｂ一（２）】＋3.7
●声に出して読むときの工夫とその理由を書く	【Ｂ３（２）】－5.8
●漢字を書く（シャワーをあびる）	【Ａ１二１】－3.4

②小学校算数

○円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさ	【Ａ５（２）】＋6.3
○二等辺三角形になる根拠となる円の性質を，選択すること	【Ａ５（１）】＋5.1
●末尾の位のそろっていない小数の減法の計算	【Ａ２（２）】－3.9
●作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	【Ｂ１（２）】－2.0

③小学校理科

○水が水蒸気になる現象について，その名称を書く	【４（５）】＋6.2
○星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	【４（３）】＋4.5
●メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	【２（１）】－11.7
●振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ	【１（２）】－2.3

④中学校国語

○語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	【Ａ９三エ】＋7.0
○回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	【Ａ７一】＋5.1
●漢字を書く（地図のシュクシャクを調べる）	【Ａ９－２】－2.3
●複数の資料から適切な情報を得て，自分の考えを具体的に書く	【Ｂ２三】－2.2

⑤中学校数学

○簡単な二元一次方程式を解く	【Ａ３（４）】＋7.1
○垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	【Ａ４（１）】＋5.4
●度数分布表について，ある階級の度数を求める	【Ａ１４（２）】－2.6
●さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	【Ａ１５（２）】－2.1

⑥中学校理科

○えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	【８（２）】＋2.5
○凸レンズによる実像ができるときの，像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	【４（１）】＋2.2
●オームの法則を使って，抵抗の値を求めることができる	【５（１）】－5.2
●背骨のある動物を，セキツイ動物と表すことができる	【８（１）】－5.2

８　児童・生徒に対する質問紙調査について

（１）８７の調査項目があり、小・中学校で全国または東京都と比べて５ポイント以上差のあった項目

調査項目	小学校（単位は%）			中学校（単位は%）		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国
①学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）【２時間以上と回答】	29.6	37.1	25.7	39.0	37.9	35.7
②土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）【２時間以上と回答】	26.0	32.7	24.5	42.0	40.7	41.7
③学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか【学習塾で勉強をしていると回答】	53.7	57.5	47.0	71.8	68.8	60.9
④家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか【していると回答】	58.2	54.8	53.2	43.6	43.2	43.6
⑤家で，学校の授業の復習をしていますか【していると回答】	15.9	17.9	23.3	15.4	15.9	18.5
⑥今住んでいる地域の行事に参加していますか【当てはまると回答】	28.1	23.0	36.9	11.9	11.8	17.5
⑦テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）【よく見ると回答】	60.3	59.6	52.9	52.5	53.5	49.1
⑧５年生まで（小学校）・１、２年生のとき（中学校）に受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか【当てはまると回答】	33.8	37.0	38.9	11.1	13.8	19.4
⑨５年生まで（小学校）・１、２年生のとき（中学校）に受けた授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか【当てはまると回答】	66.7	68.7	66.6	19.7	29.0	39.3
⑩４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか【そう思わない、どちらかといえばそう思わないと回答】	48.0	47.9	39.8	38.8	40.9	35.6

【家庭に関する内容】

○家庭での学習時間（学習塾も含む）については、小学校から中学校になるにつれて増加している。中学校では学習塾で勉強する割合が東京都、全国よりも高い数値を示している。

○家で、学校での出来事について話をする割合が高い。

○家で、学校の授業の復習をする割合が低い。

【学校に関する内容】

○授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている割合と、特に中学校において学習の目標とまとめを書いている割合が低い。

○原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことを、小学校で約半数、中学校で約４割が難しいとは思っていない。

（２）上位校と下位校においてポイント差が大きかった項目

調査項目	小学校（単位は%）			中学校（単位は%）		
	上位校	下位校	全国	上位校	下位校	全国
①普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・ＤＶＤを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）【２時間以上と回答】	54.7	68.2	59.2	52.1	58.4	55.7
②普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか【２時間以上と回答】	28.1	44.4	30.2	31.3	45.6	36.3
③学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）【２時間以上と回答】	48.4	17.4	25.7	47.4	27.2	35.7
④土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）【２時間以上と回答】	39.0	14.3	24.5	28.4	8.8	17.7
⑤学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか【学習塾に通っていると回答】	60.9	47.5	47.0	78.0	66.4	61.1
⑥昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか【月に３回以上行くと回答】	57.9	19.0	40.7	22.6	12.8	19.6
⑦家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか【していると回答】	50.0	63.5	53.2	38.2	44.8	43.6
⑧テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）【よく見ると回答】	65.6	49.2	52.9	49.7	43.2	49.1
⑨学校のきまりを守っていますか【当てはまると回答】	34.4	28.6	41.7	54.3	38.4	58.8
⑩５年生（小学校）・１、２年生（中学校）までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか【当てはまると回答】	68.8	41.3	57.5	19.1	16.8	41.9
⑪５年生まで（小学校）・１、２年生のとき（中学校）に受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか【当てはまると回答】	50.0	25.4	38.9	9.2	7.2	19.4
⑫５年生まで（小学校）・１、２年生のとき（中学校）に受けた授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか【当てはまると回答】	75.0	49.2	66.6	22.0	17.6	39.3
⑬読書は好きですか【当てはまると回答】	50.0	28.6	48.9	39.3	36.0	44.9

９　町田市における学力向上の取組

①教育委員会の取組

○「学力向上推進委員会」を設置し、学力向上のための効果的な取組について、情報収集を行い、２０１５年４月に「町田市学力向上推進プラン」を策定し、発信した。
○「学力向上パイロット校」を指定し、「わかる学力」を高めるための効果的な指導法を中心に研究・検証を行う。
○「小中一貫（連携）推進地区」を指定し、義務教育９年間を見通した学力向上を図る。
○「学力向上モデル地区」を指定し、民間教育機関との共同研究による小・中学校９年間を見通した学力向上策の構築をとおして、地域の実態に応じた学力向上を図る。
○「町田市学力向上推進フォーラム」を開催し、町田市学力向上推進事業について、広く周知・理解を図るとともに、学校、家庭、地域が連携した取組を推進する。
○ 教員研修を充実させる。
○ 学校支援の充実を図る。

②学校の取組

○ 学力向上のための推進体制の構築し、学力向上のための校内体制づくりを推進する。
○ 学力上の課題を抽出し「授業改善推進プラン」の充実・実践を図る。
○ 小・中学校間の指導の連続性を重視し、学力上の課題を共有することによって、地区ごとに９年間を見通した小・中学校連携による学力向上策を推進する。
○ 教員の授業力向上に資するよう町田市教育委員会実施の研修等との関連を図りながら、校内における研究・研修を充実させる。
○「できる学力」（基礎的・基本的な知識及び技能）の確実な習得に向けた取組を充実する。
○「わかる学力」（思考力・判断力・表現力等）の育成に向けた授業改善を推進する。

③家庭の取組

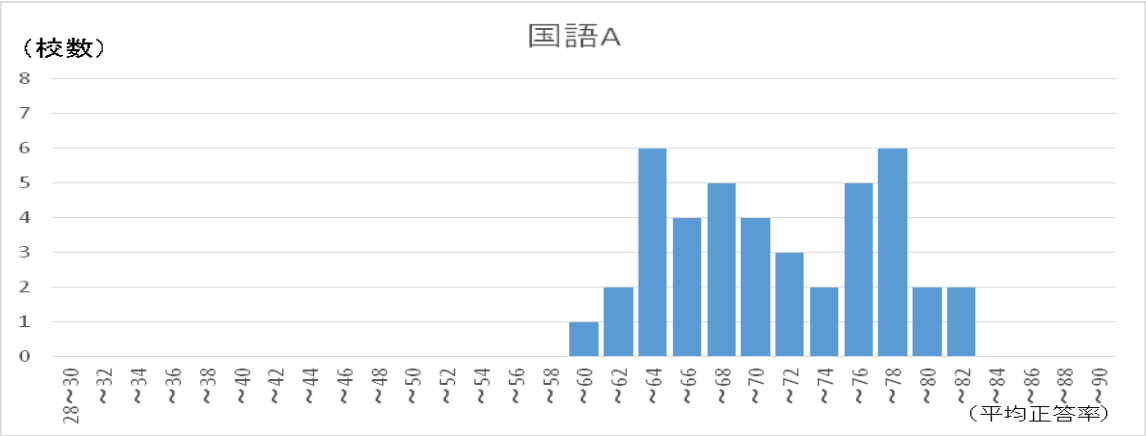
○家族間の会話
「学校のこと、友達のことを話題にして、子どもと会話しましょう。」
「子どもが今できていることを認めて、ほめましょう。」
○読書の習慣
「本に親しみ、読書が好きになるようにしましょう。」
○家庭学習
「学校と協力して、宿題や予習・復習にすすんで取り組みましょう。」
○生活習慣・規範意識
「テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間、携帯電話を使う時間を決めましょう。」

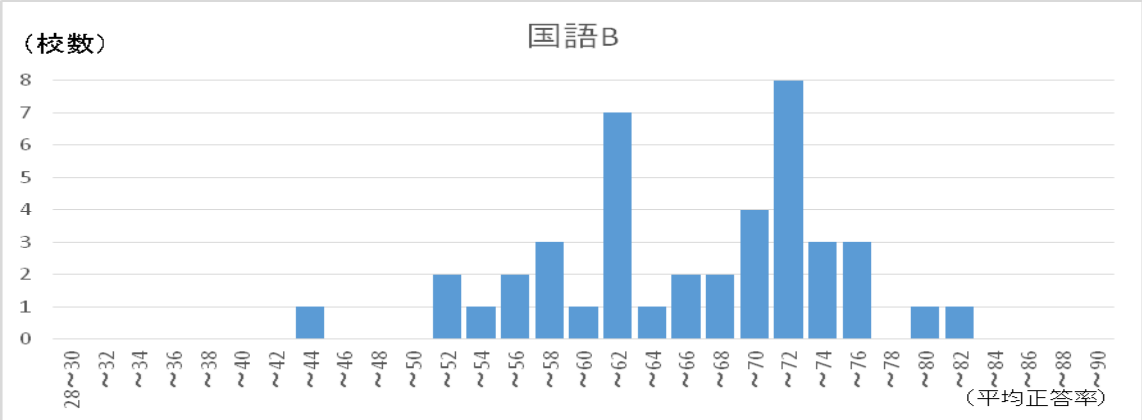
④地域の取組

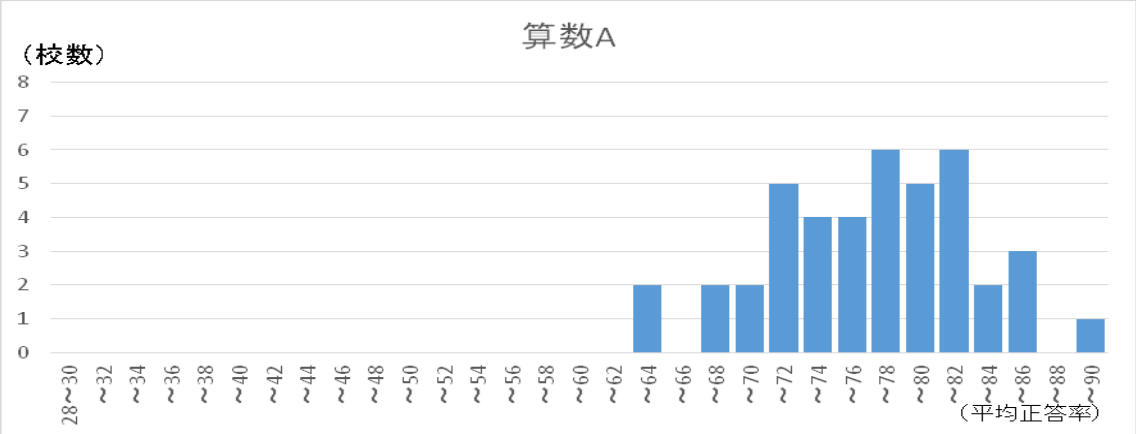
○各学校のボランティアコーディネーターは、教育委員会学校支援センターと連携し、学力向上のために、学習支援ボランティアの活動の拡充を図る。
○学習支援ボランティアは、校長の学校経営方針の下、学習支援ボランティア補習教室等の運営に携わる。
○教育委員会学校支援センターと各学校は、近隣大学等による学習支援、小・中学校と近隣大学との共同研究を促進するよう連携する。

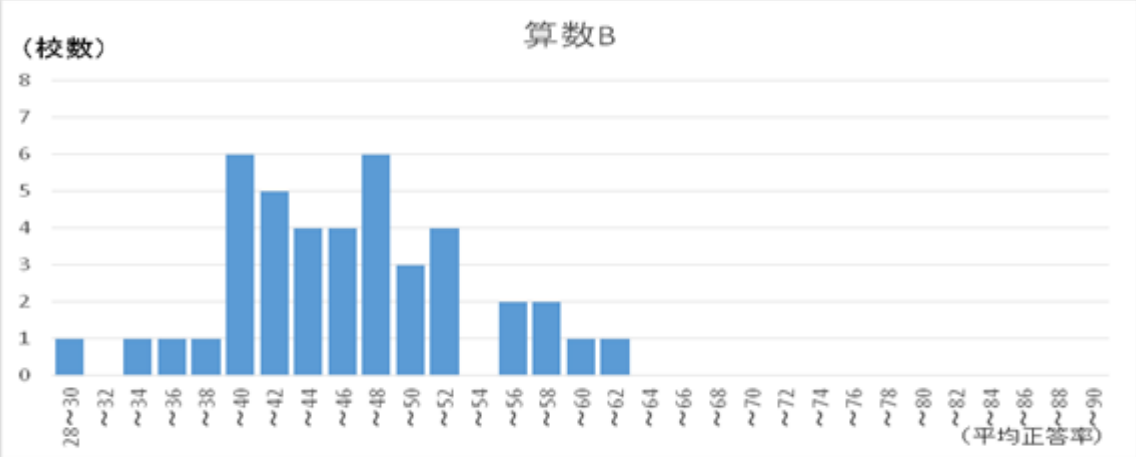
１０　町田市立学校別の平均正答率の分布

①　小学校

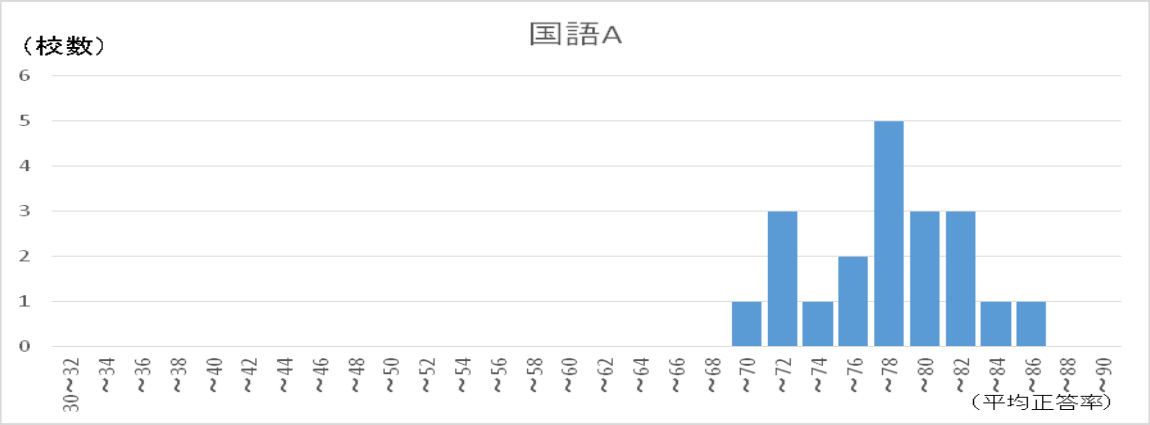


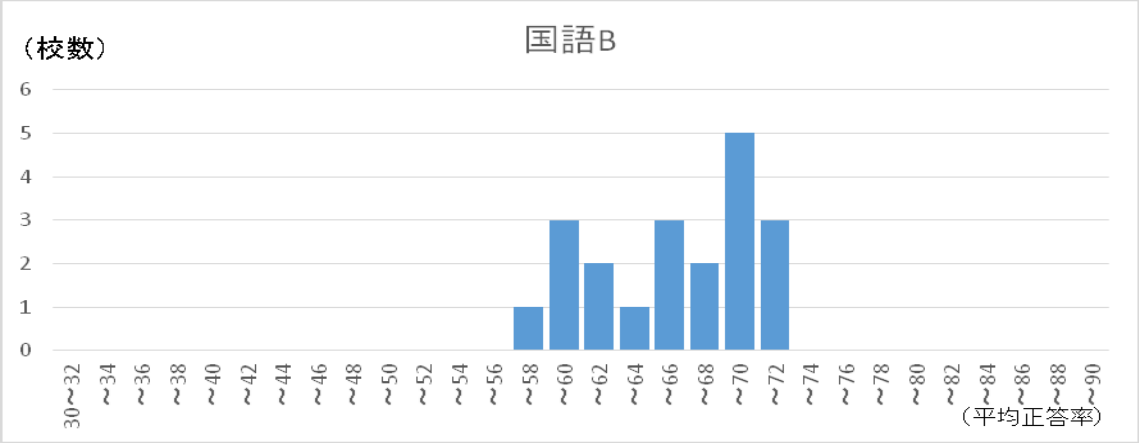


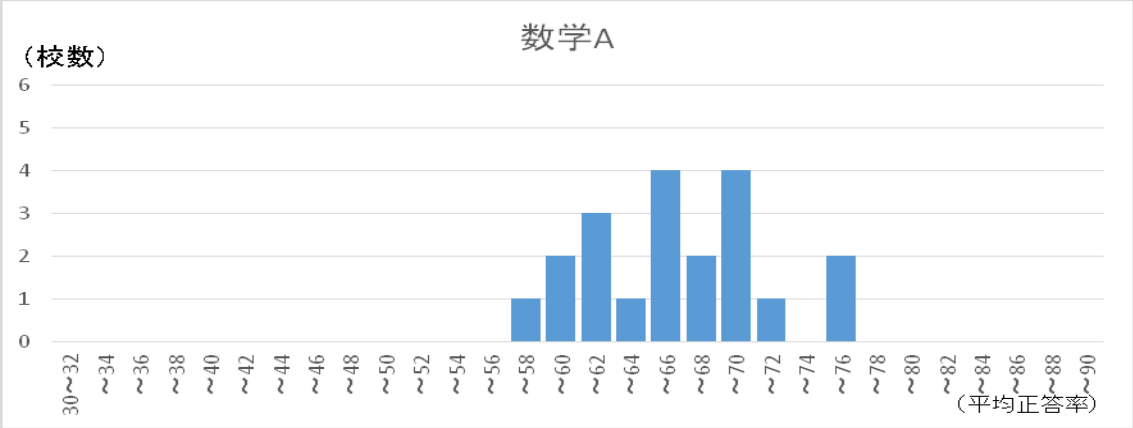


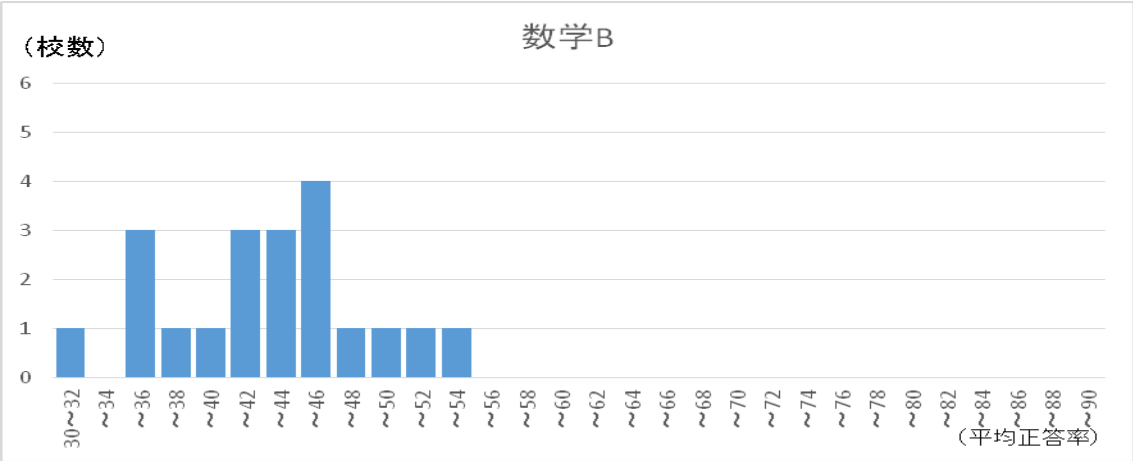


② 中学校


国語A
（校数）
6
5
4
3
2
1
0
30～32
～34
～36
～38
～40
～42
～44
～46
～48
～50
～52
～54
～56
～58
～60
～62
～64
～66
～68
～70
～72
～74
～76
～78
～80
～82
～84
～86
～88
～90
（平均正答率）


国語B
（校数）
6
5
4
3
2
1
0
30～32
～34
～36
～38
～40
～42
～44
～46
～48
～50
～52
～54
～56
～58
～60
～62
～64
～66
～68
～70
～72
～74
～76
～78
～80
～82
～84
～86
～88
～90
（平均正答率）


数学A
（校数）
6
5
4
3
2
1
0
30～32
～34
～36
～38
～40
～42
～44
～46
～48
～50
～52
～54
～56
～58
～60
～62
～64
～66
～68
～70
～72
～74
～76
～78
～80
～82
～84
～86
～88
～90
（平均正答率）


数学B
（校数）
6
5
4
3
2
1
0
30～32
～34
～36
～38
～40
～42
～44
～46
～48
～50
～52
～54
～56
～58
～60
～62
～64
～66
～68
～70
～72
～74
～76
～78
～80
～82
～84
～86
～88
～90
（平均正答率）

１１　平均正答率の差

2013（小）	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
上位校	74.6	63.0	86.3	71.1	
東京都	64.8	52.1	78.4	60.8	
町田市	63.8	51.2	77.5	58.2	
全国	62.7	49.4	77.2	58.4	
下位校	49.4	32.6	65.3	40.3	
上位校-下位校	25.2	30.4	21.0	30.8	0.0

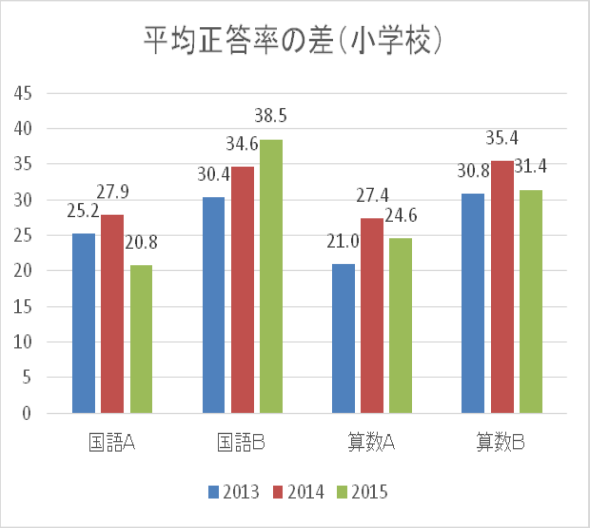
2013（中）	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
上位校	82.6	76.1	71.5	49.4	
東京都	77.3	69.3	65.2	43.2	
町田市	76.5	68.2	64.5	40.8	
全国	76.4	67.4	63.7	41.5	
下位校	60.4	56.6	46.2	23.0	
上位校-下位校	22.2	19.5	25.3	26.4	0.0

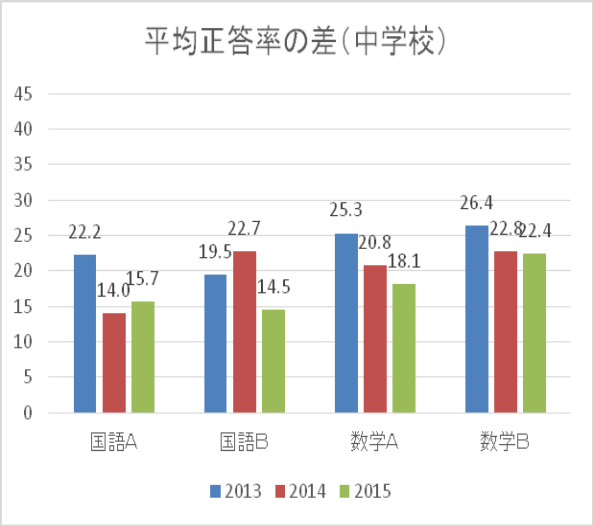
2014（小）	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
上位校	85.5	70.9	89.3	75.0	
東京都	75.5	57.2	79.4	61.2	
町田市	72.9	54.8	78.0	58.8	
全国	72.9	55.5	78.1	58.2	
下位校	57.6	36.3	61.9	39.6	
上位校-下位校	27.9	34.6	27.4	35.4	0.0

2014（中）	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
上位校	86.2	62.2	78.4	69.0	
東京都	80.7	53.2	68.8	61.8	
町田市	80.3	52.4	68.8	60.8	
全国	79.4	51.0	67.4	59.8	
下位校	72.2	39.5	57.6	46.2	
上位校-下位校	14.0	22.7	20.8	22.8	0.0

2015（小）	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
上位校	80.7	81.9	88.0	60.5	72.6
東京都	72.3	66.5	77.4	47.8	62.4
町田市	70.5	65.9	76.4	45.7	61.7
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
下位校	59.9	43.4	63.4	29.1	41.1
上位校-下位校	20.8	38.5	24.6	31.4	31.5

2015（中）	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
上位校	84.6	70.8	74.5	53.8	58.4
東京都	77.2	67.0	66.3	44.0	53.0
町田市	77.3	65.9	66.2	42.9	52.0
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	52.5
下位校	68.9	56.3	56.4	31.4	40.7
上位校-下位校	15.7	14.5	18.1	22.4	17.7



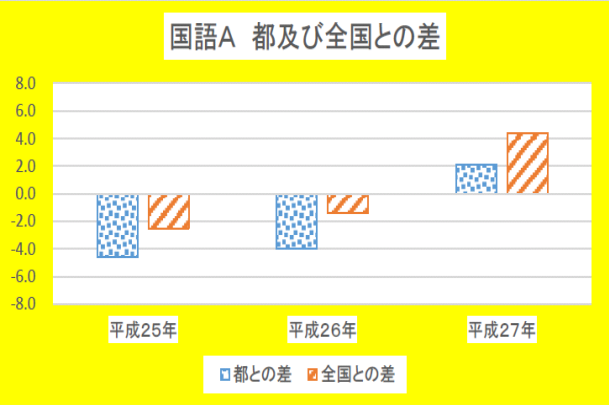


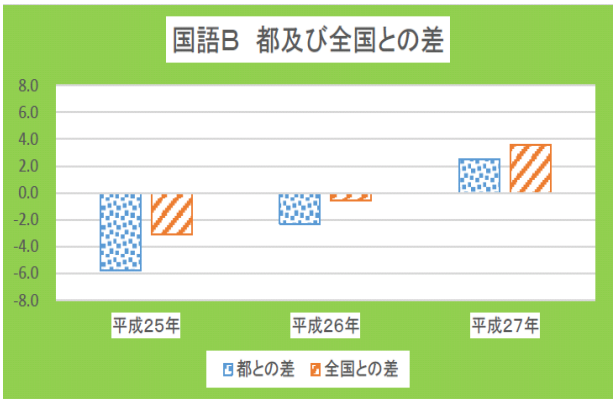
※上位校とはその年度の教科ごとで最も平均正答率が高かった学校を表している。

１２　パイロット校の取組

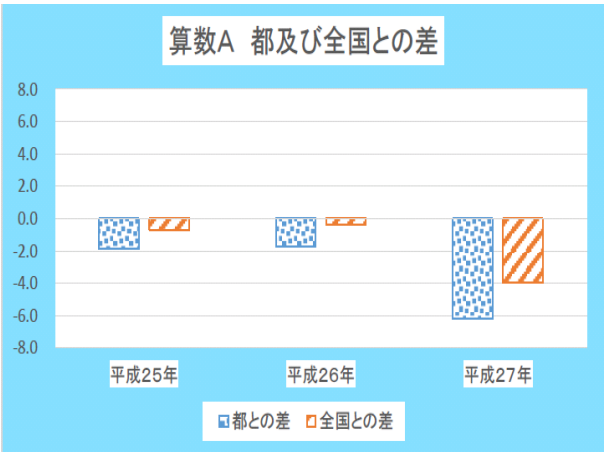
①平均正答率における３年間の経年変化（小学校）

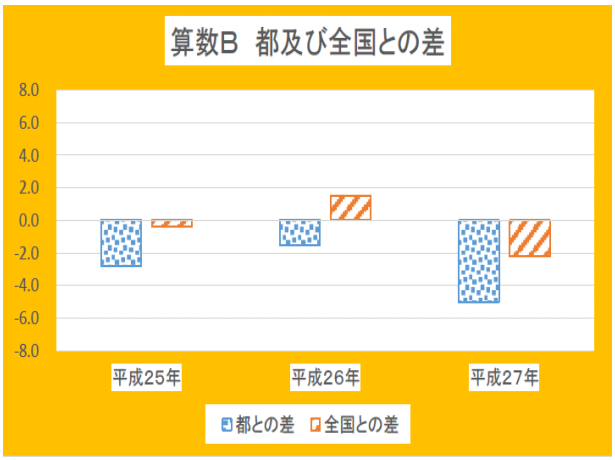
平均正答率						
	国語A			国語B		
	南一小	東京都	全国	南一小	東京都	全国
平成25年	60.2	64.8	62.7	46.3	52.1	49.4
平成26年	71.5	75.5	72.9	54.9	57.2	55.5
平成27年	74.4	72.3	70.0	69.0	66.5	65.4





平均正答率						
	算数A			算数B		
	町六小	東京都	全国	町六小	東京都	全国
平成25年	76.5	78.4	77.2	58.0	60.8	58.4
平成26年	77.7	79.4	78.1	59.7	61.2	58.2
平成27年	71.2	77.4	75.2	42.8	47.8	45.0





○小学校国語（南第一小学校）

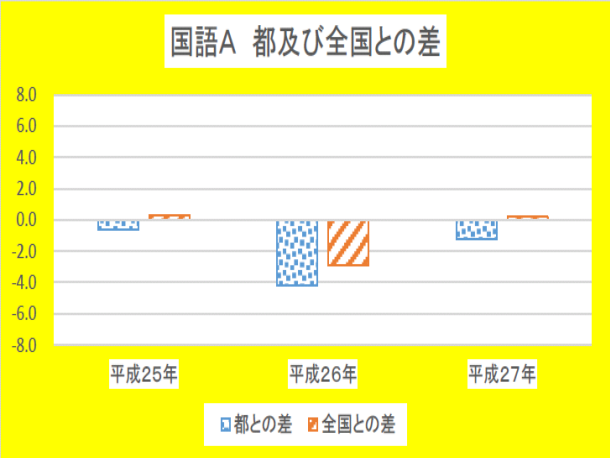
３ＤＫノート（課題、個人探究、協同探究、展開問題）や発表の時に使用する短冊式などの方法を用いて３年間で全国や都の平均正答率を超えた。

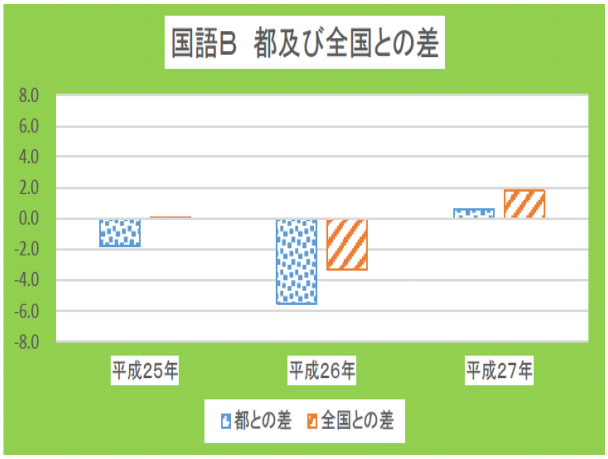
○小学校算数（町田第六小学校）

今年度の６年生は昨年度の６年生と比較すると都及び全国との差は大きくなっているが、昨年度の都の学力向上を図るための調査と比較すると、都との差は 3.2 ポイント小さくなっている。（平成２６年度－8.2 ポイント→平成２７年度－5.0 ポイント）

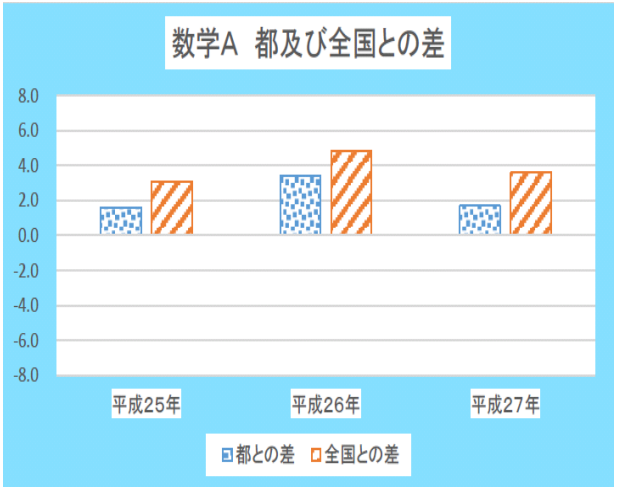
②平均正答率における３年間の経年変化（中学校）

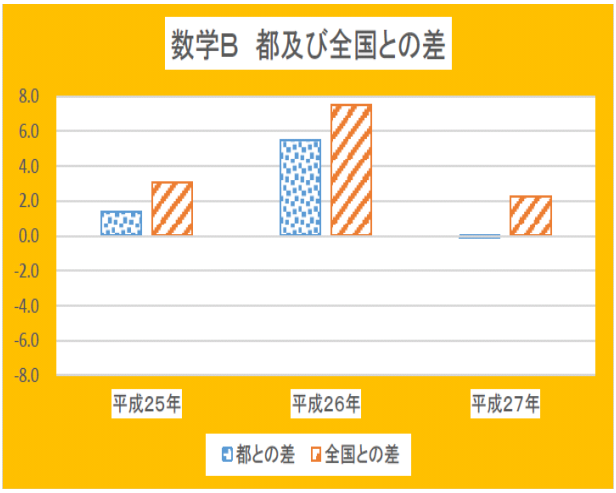
平均正答率						
	国語A			国語B		
	町田第一	東京都	全国	町田第一	東京都	全国
平成25年	76.7	77.3	76.4	67.5	69.3	67.4
平成26年	76.5	80.7	79.4	47.7	53.2	51.0
平成27年	76.0	77.2	75.8	67.6	67.0	65.8





平均正答率						
	数学A			数学B		
	町田第二	東京都	全国	町田第二	東京都	全国
平成25年	66.8	65.2	63.7	44.6	43.2	41.5
平成26年	72.2	68.8	67.4	67.3	61.8	59.8
平成27年	68.0	66.3	64.4	43.9	44.0	41.6

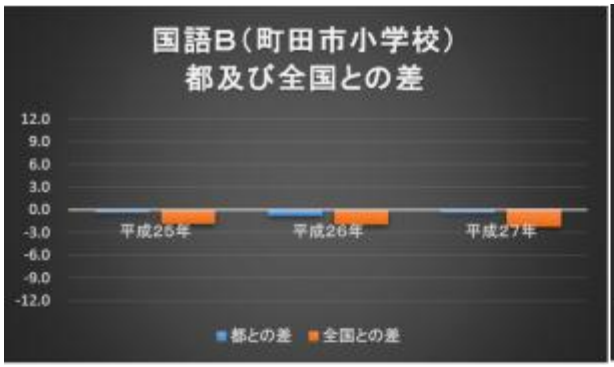


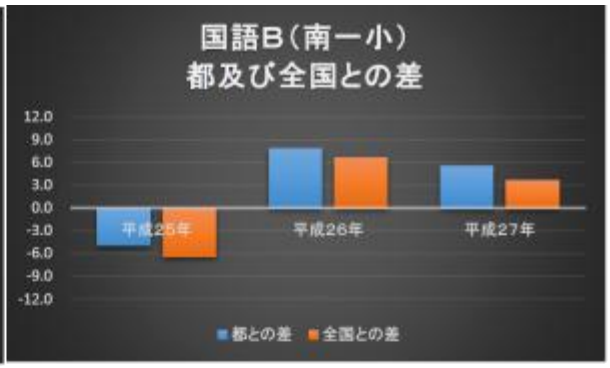


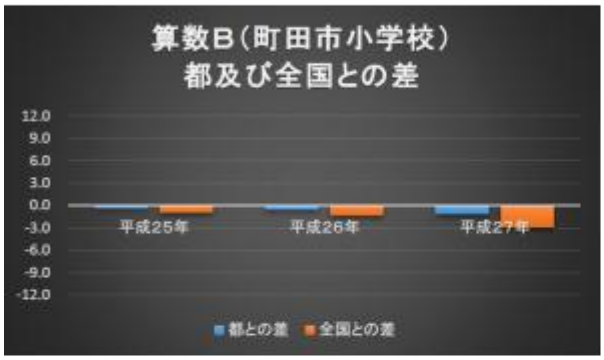
○中学校国語（町田第一中学校）
平成２５年度から協同的探究学習に取り組み、平成２７年度の国語Ｂの平均正答率は都及び全国の平均を上回った。

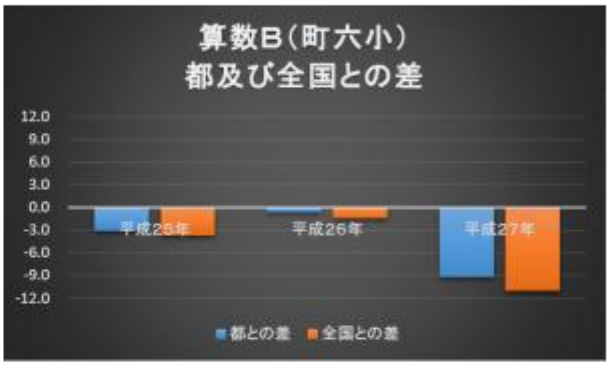
○中学校数学（町田第二中学校）
平成２６年度より平均正答率の都及び全国との差は小さくなったが、平成２７年度から全教科で協同的探究学習に取り組んでいる。

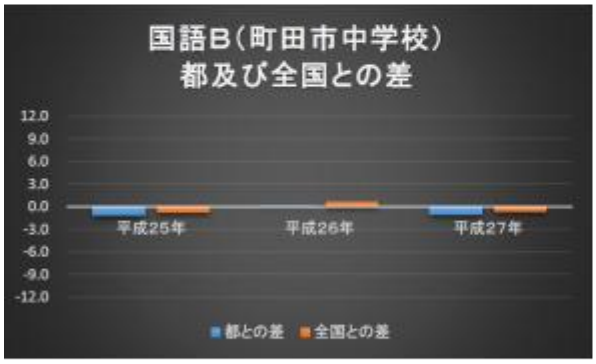
③記述問題における無解答率の３年間の経年変化

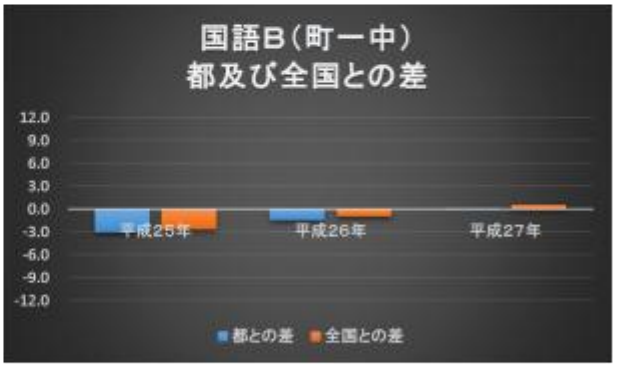


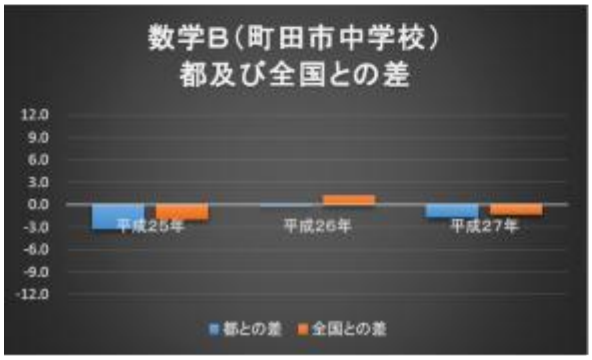


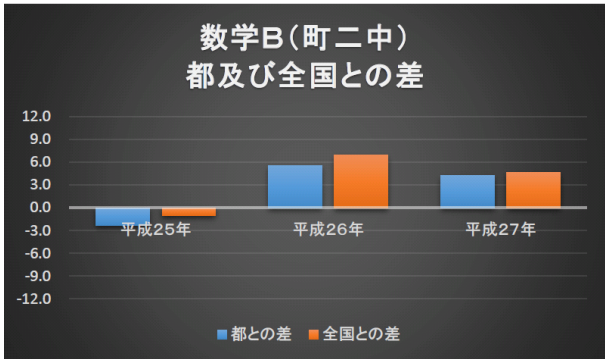








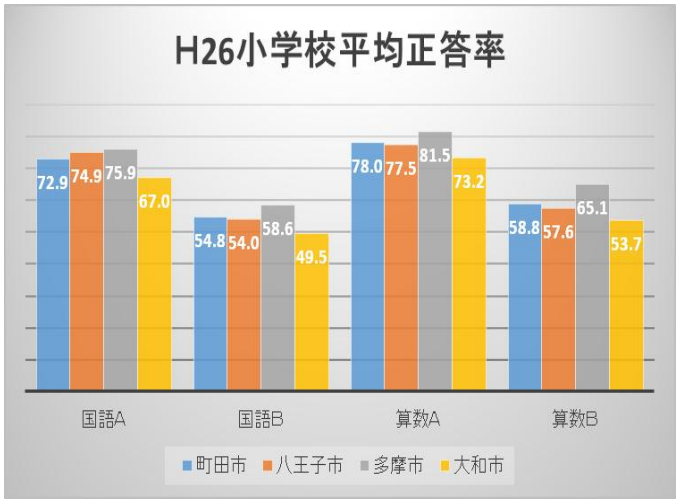


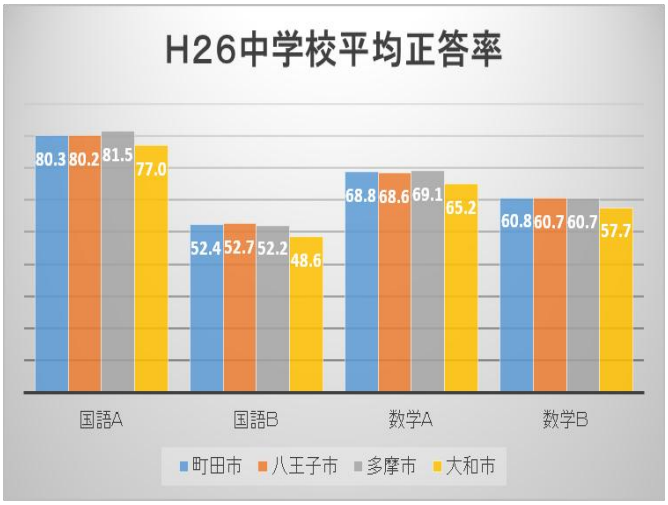


○南第一小学校は平成２５年度から協同的探究学習に取り組み、平成２５年度は無解答率の都及び全国との差はマイナスだったのが、平成２６年度、２７年度はプラスになっている。

○町田第一中学校、町田第二中学校も無解答率の都及び全国との差が平成２７年度はプラスになっている。

１３　近隣市の平均正答率との比較（昨年度）





○近隣市の平均正答率と比較してみると、どちらかといえば小学校の方がバラつきが大きく、中学校は均衡している。
○小学校、中学校とも八王子市と似たデータを示している。

１４　近隣市の学力向上に向けた取組

○八王子市

①教育委員会の取組

（１）指導主事による学校訪問の充実
（２）「学力定着度調査」の実施　対象：小学校第４学年　国語・算数
　　「学力定着度調査」の実施　対象：中学校第１学年　国語・数学・英語
（３）指導力向上のための教員研修の充実
（４）個に応じた指導を充実させるための人的配置
（５）学校の学力向上に関する取組の情報提供
（６）家庭学習の定着のための情報提供

②学校の取組

（１）学力向上・学習状況改善計画の策定と実施
（２）授業改善推進プランの策定と実施
（３）個に応じた指導の充実
（４）教育課程の改善と校内研究・研修の充実
（５）家庭学習の定着のための情報提供

③家庭への期待　「はちおうじっ子　家庭学習のポイント」～家庭学習の４つのポイント～

（１）家で勉強する時間を決めよう　重点
（２）最初にまず「宿題」をしよう　重点
（３）「復習」はその日のうちにしよう

（４）次の日の「予習」をしよう

○多摩市

（１）「確かな学力」を育成するための学校への支援

・学力の定着・伸長を促す学習指導の充実

・持続発展教育・ＥＳＤによる学力の向上

・防災教育の充実

・学校の情報化教育等の環境の整備

・情報教育の推進

・特別支援教育の充実

・教員の資質・能力の向上

・児童・生徒がよりよく育つ教育環境の整備

（２）「確かな学力」を育成するための家庭への支援

・教育委員会や学校からの積極的な情報発信

・生活習慣の安定と家庭学習の習慣形成の支援

（３）「確かな学力」を育成するための地域への支援

・学校を支援する地域の仕組みづくり

○大和市

（１）学校・地域・家庭の取り組みをまとめた、学力向上へのアクションプランを作成する。

（２）学校図書館を核とした読書活動を推進する。

（３）放課後寺子屋やまとを開催する。

（４）寺子屋コーディネーターによる授業力向上支援を行う。

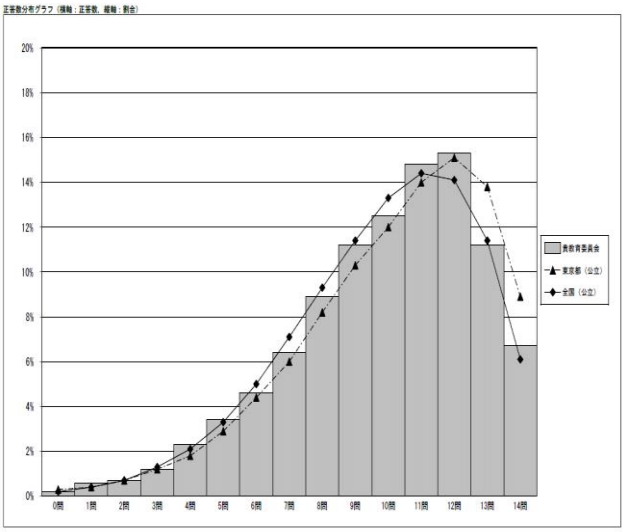
（５）指導主事による要請訪問をし、授業づくりの指導・助言を行う。

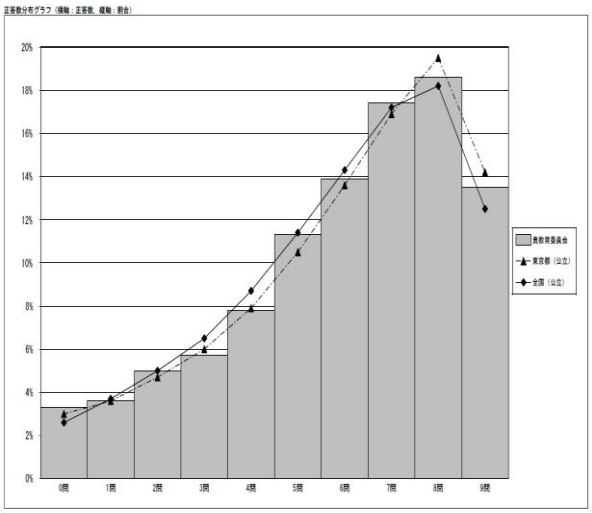
（６）市教育委員会による全国学力・学習状況調査の分析と指導のポイントを作成し、学校へ周知する。

（７）市内各小中学校における全国学力・学習状況調査の分析をし、保護者会等で報告する。

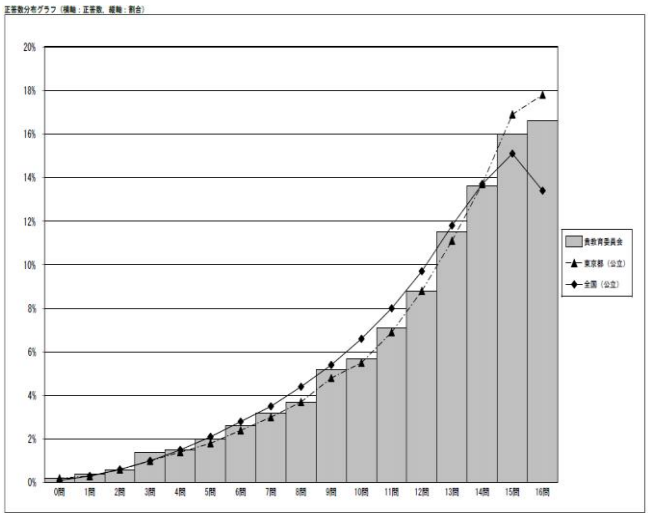
１５　正答数分布グラフ

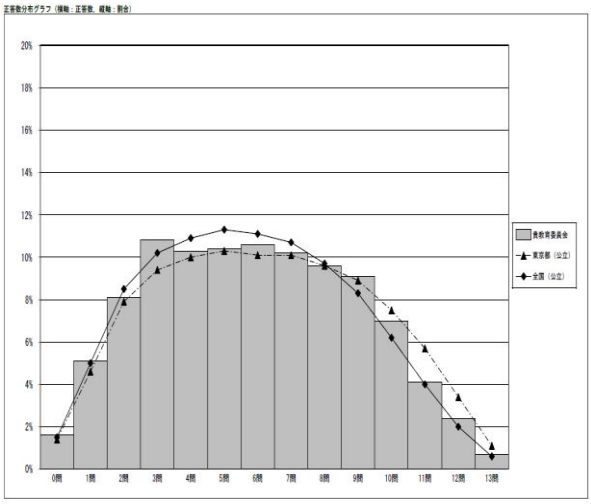
①小学校国語Ａ，Ｂ



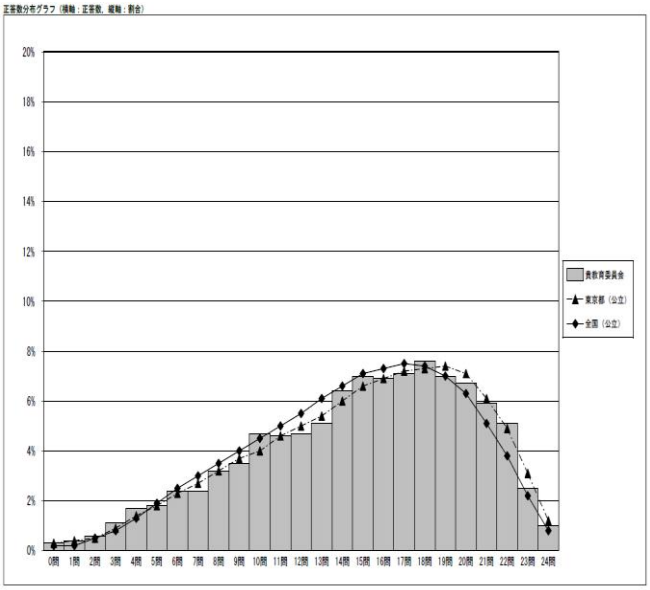


②小学校算数Ａ，Ｂ

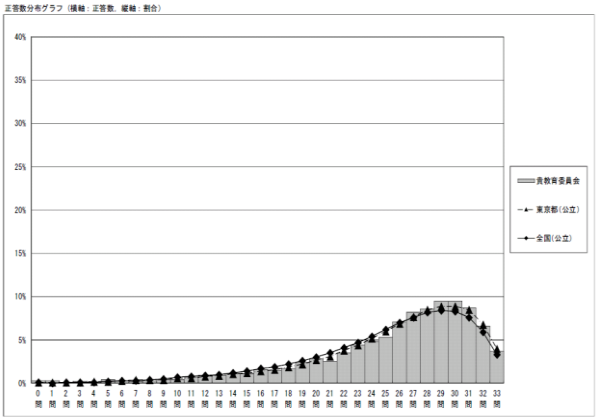


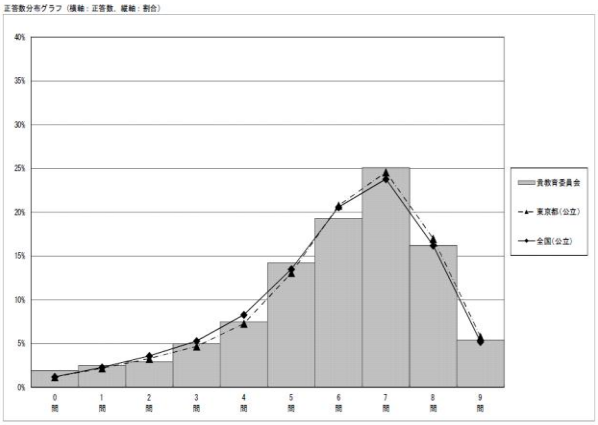


③小学校理科

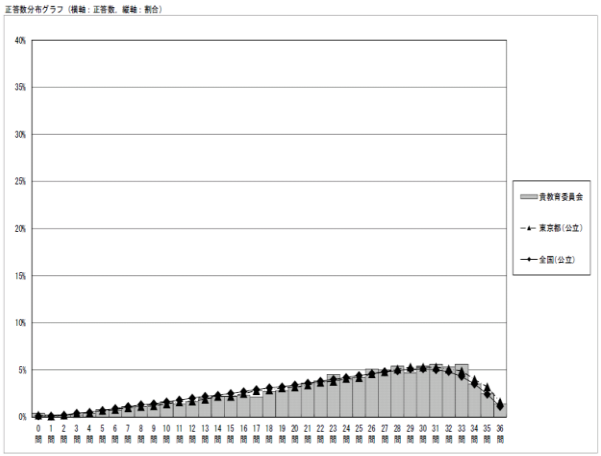


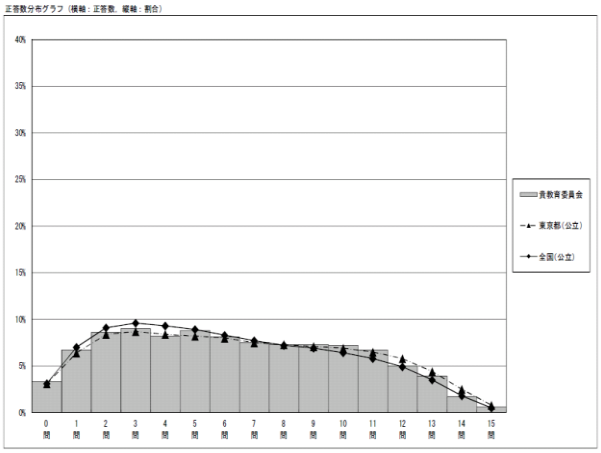
④中学校国語Ａ，Ｂ



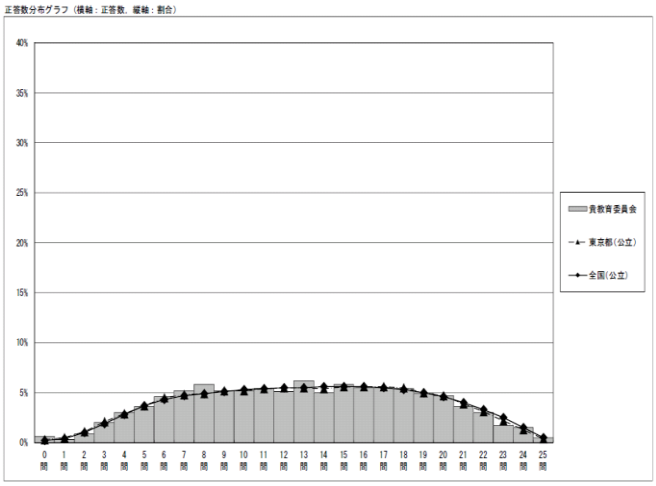


⑤中学校算数Ａ，Ｂ





⑥中学校理科



１６　都道府県別平均正答率の順位

2015小		2014小		2015中		2014中	
秋田県	67.8%	秋田県	75.3%	福井県	65.9%	福井県	74.3%
福井県	67.1%	福井県	72.4%	秋田県	65.3%	秋田県	74.0%
石川県	66.3%	石川県	72.2%	石川県	63.6%	富山県	72.2%
富山県	65.4%	青森県	71.3%	富山県	63.4%	石川県	71.7%
青森県	63.6%	富山県	70.9%	岐阜県	62.3%	静岡県	71.4%
広島県	63.4%	広島県	70.4%	愛知県	62.0%	山口県	70.9%
東京都	63.3%	東京都	70.0%	静岡県	62.0%	群馬県	70.8%
静岡県	63.2%	新潟県	69.8%	群馬県	61.9%	東京都	70.3%
愛媛県	63.2%	茨城県	69.8%	愛媛県	61.5%	青森県	70.3%
京都府	63.1%	鳥取県	69.6%	東京都	61.4%	愛媛県	70.2%
山口県	62.9%	香川県	69.5%	兵庫県	61.2%	岐阜県	70.1%
新潟県	62.7%	京都府	69.3%	京都府	60.7%	兵庫県	70.1%
茨城県	62.6%	岩手県	68.9%	神奈川県	60.7%	愛知県	70.0%
香川県	62.5%	山口県	68.9%	茨城県	60.7%	広島県	69.5%
群馬県	62.4%	大分県	68.9%	山口県	60.7%	山形県	69.3%
兵庫県	62.4%	長野県	68.7%	広島県	60.6%	奈良県	69.2%
岐阜県	62.3%	千葉県	68.7%	熊本県	60.3%	鳥取県	68.9%
鳥取県	62.0%	静岡県	68.7%	鳥取県	60.3%	熊本県	68.9%
大分県	61.9%	高知県	68.5%	山形県	60.3%	新潟県	68.9%
熊本県	61.9%	福島県	68.4%	山梨県	60.2%	京都府	68.9%
愛知県	61.8%	山形県	68.4%	新潟県	60.1%	香川県	68.9%
長野県	61.7%	沖縄県	68.0%	宮城県	60.0%	山梨県	68.8%
千葉県	61.6%	群馬県	67.8%	奈良県	60.0%	千葉県	68.7%
奈良県	61.5%	愛媛県	67.8%	香川県	60.0%	徳島県	68.7%
神奈川県	61.5%	熊本県	67.8%	青森県	59.8%	宮崎県	68.7%
山形県	61.3%	奈良県	67.6%	千葉県	59.7%	神奈川県	68.6%
徳島県	61.2%	兵庫県	67.6%	栃木県	59.6%	島根県	68.6%
山梨県	61.1%	埼玉県	67.5%	長野県	59.6%	栃木県	68.5%
宮城県	61.0%	佐賀県	67.5%	徳島県	59.5%	茨城県	68.4%
岩手県	60.9%	宮城県	67.3%	長崎県	59.5%	宮城県	68.4%
三重県	60.8%	宮崎県	67.3%	北海道	59.5%	長崎県	68.3%
宮崎県	60.7%	鹿児島県	67.3%	大分県	59.4%	長野県	68.3%
長崎県	60.7%	福岡県	67.1%	島根県	59.3%	埼玉県	68.2%
栃木県	60.7%	神奈川県	67.1%	三重県	59.2%	北海道	68.0%
鹿児島県	60.6%	栃木県	66.9%	大阪府	59.1%	大分県	68.0%
福岡県	60.6%	長崎県	66.9%	埼玉県	59.0%	三重県	67.7%
岡山県	60.5%	岡山県	66.9%	宮崎県	58.7%	岩手県	67.6%
福島県	60.5%	島根県	66.7%	福岡県	58.5%	福岡県	67.3%
和歌山県	60.4%	山梨県	66.5%	福島県	58.3%	鹿児島県	67.2%
島根県	60.4%	岐阜県	66.4%	岡山県	58.2%	福島県	67.1%
埼玉県	60.3%	大阪府	66.0%	滋賀県	58.2%	滋賀県	67.1%
北海道	60.3%	徳島県	66.0%	鹿児島県	58.1%	岡山県	66.6%
高知県	60.2%	北海道	65.8%	和歌山県	58.0%	和歌山県	66.6%
大阪府	60.2%	愛知県	65.8%	岩手県	57.6%	佐賀県	66.2%
佐賀県	60.1%	三重県	65.5%	佐賀県	57.4%	大阪府	66.0%
滋賀県	59.7%	滋賀県	65.5%	高知県	55.9%	高知県	64.8%
沖縄県	58.5%	和歌山県	65.5%	沖縄県	53.4%	沖縄県	61.3%

１７　意見交換の論点について

（１）調査結果と分析の説明

（２）各学校の平均正答率の差への対応

①差をどう考えるか。

・学校ごと、地域ごとに課題が見られる。

・各学校は学力調査等の結果を分析し、授業改善推進プランを立案し、具体的な計画を立てているが、学校ごとに効果的な取組を考え、実行していくことが求められる。

②差にどのように対応するべきか。

・２年間パイロット校として取り組んできた南第一小学校は、町田市において下の方に位置していたが、現在は中よりも上に位置している。

（国語Ｂにおいて、２年前３３位→昨年１９位→今年１７位）

・南第一小学校が協同的探究学習の理念を取り入れた授業を行っており、その成果を拡げていくことが良いのではないか。

③教育委員会の取組に追加すべき点は何か。

・下位層の学校に対しては、教員が同じベクトルに向かって取り組めるように、研究推進校の指定をして支援をしていく必要がある。

（３）質問紙調査の結果からみられる学校と家庭との役割分担について

①家庭学習や家庭生活における課題は何か。（平均正答率が上位の学校と下位の学校を比較して差の大きい質問項目）

・朝食を毎日食べているか。　・テレビを見る時間やゲームをする時間

・家庭学習の時間　・読書をする時間　・読書が好きか

②家庭学習や家庭生活の充実・改善のために取り組むべきことは何か。

・読書の習慣や、生活習慣・規範意識を高める。

③学校が意識して取り組めることはあるか。（平均正答率が上位の学校と下位の学校を比較して差の大きい質問項目）

・授業の始めに目標（めあて・ねらい）を示すこと

・授業の最後に学習内容を振り返ること　・学校のきまりを守ること

（４）学力向上に向けた取組の充実

①町田市の子供たちに身に付けさせたい学力とは何か。

・思考力・判断力・表現力を高めるとともに、そのための知識・理解・技能も両輪として身に付けさせたい。

②現在の教育委員会の取組をどう考えるか。

・町田市全体の取組も大切だが、学校間での格差や学校内での格差があると思うので、各校の聞き取りや分析を丁寧に行い、支援をしていく。